人財育成センター『まなぶるNEWS』

まなぶる

26限目　２０２４年３月発行　発行責任者：渡部潔

今月の学習会報告　～　社会保障委員会　編～

開催の経緯

社保委員会は、今年度から2カ月1回の開催と致しました。
社保委員会は、新人さんなど若手の多い委員会ですので、学習は重要と考えていました。

学び

では、「何を学習するか」は、非常に大切です。
平和の学習や原発問題、マイナンバーカードなど社会保障に関する課題は多岐に渡ります。
その中でも医療の現場で働く者として、気づかないうちに誰かを傷つけてしまわないためにもLGBTQについての学習を行いたいと考えておりました。
すべての民医連職員のためのLGBTQ基礎知識の冊子が届けられたこともあり、 LGBTQについてを学習を進めることと致しました。
その冊子が「にじのかけはし」です。委員会の時間内の10分間程度で全員で読み合わせ学習と感想交流というシンプルな学習を行っています。

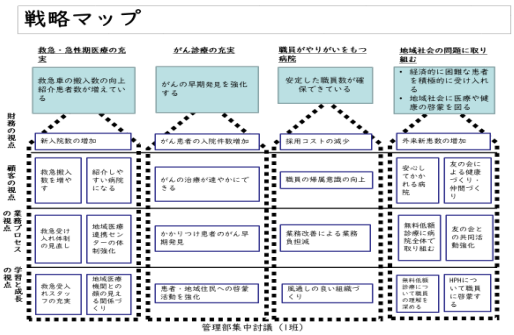
抱負

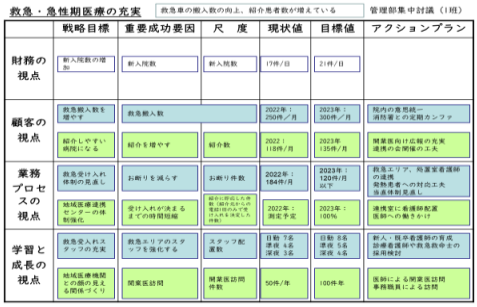
このLGBTQについては、身近な性の多様性をまず知ること、これがスタートだと考えます。冊子の読み合わせは、最後まで終了しておりませんので、来期も引き続き学習を続ける予定です。

まなmemo

坂病院のBSCをみたことはありますか？

BSCとは、組織のミッションの達成のために、
ビジョンを示し、その達成のための戦略という
ロジックを可視化させた戦略マップを示し、
戦略目標を指標に置き換え、指標と具体策を示し、





救急・急性期医療の充実　救急車の搬入数の向上、紹介患者数が増えている　管理部集中討議（1班）

	戦略目標	重要成功要因	尺　度	現状値	目標値	アクションプラン
財務の視点	新入院数の増加	新入院数	新入院数	17件/日	21件/日	
顧客の視点	救急搬入数を増やす	救急搬入数		2022年：250件／月	2023年：300件／月	院内の意思統一 消防署との定期カンファ
	紹介しやすい病院になる	紹介を増やす	紹介数	2022：118件/月	2023年：135件/月	開業医向け広報の充実 連携の金開催の工夫
業務プロセスの視点	救急受け入れ体制の見直し	お断りを減らす	お断り件数	2022年：184件/月	2023年：120件/月以下	救急ホリデ、時選室看護師の連携 発熱患者への対応工夫 当直体制見直し
	地域医療連携センターの体制強化	受け入れが決まるまでの待機短縮	紹介が断られた患者（連携センターから電話1回のみで決まった件数）	2022年：測定予定	2023年：100%	連携室に看護師配置 医師への働きかけ
学習と成長の視点	救急受入れスタッフの充実	救急ホリアのスタッフを強化する	スタッフ配置数	目勤 7名 準夜 4名 深夜 3名	目勤 8名 準夜 5名 深夜 4名	新人・既卒看護師の育成 診療看護師や救急救命士の採用検討
	地域医療機関との顔の見える関係づくり	開業医訪問	開業医訪問件数	50件/年	100件/年	医師による開業医訪問 事務職員による訪問

▲スコアカード

達成目標を数字で示したスコアカードで戦略を管理、実行し、コントロールすることで、組織改革まで及ぶ戦略経営実践の枠組みという経営の道具である。

（医療職のためのバランスト・スコアカード実践マニュアル/
西谷啓太・梅井崇仁・髙橋淑郎　著）